

としまボランティアセンターだより

2022年2月号

毎月15日発行

Vol. 305

発行：社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
豊島ボランティアセンター

〒170-0013 豊島区東池袋 1-39-2 区役所東池袋分庁舎 4階

TEL 03-3984-9375 FAX 03-3981-2946

Eメール tomonii@t.toshima.ne.jp

URL <http://toshima-shakyo.or.jp>

月～金曜日 8:30～17:15 (土日・祝日・年末年始は休み)

音声版は当協議会の閲覧コーナーにあります。

講演会

共生社会の視点から考える

「地震や豪雨災害などからみえた地域の課題」

～誰にとっても生きやすい社会を求めて～

災害は突然の出来事で建物や生命まで脅かされるばかりか、何の変哲もない日頃つながり合っている人間模様までもが無くなってしまふ現実があります。受け止めきれないたくさんの現実に心を痛め、ふたたび立ち上がるまでには長い時間が必要となりますが、一方で再び人々とのつながりを深めながら地域での生活を構築していくこととなります。

この度、阪神・淡路大震災や東日本大震災、台風・豪雨被害等の被災地において、物資配付や入浴送迎支援、仮設住宅での被災者支援、子どもの遊び場づくり、サロン活動、移動図書館活動などの被災者支援活動、国外では紛争等により混乱している国々の市民に学校建設や図書館設置、絵本を届ける活動などを実践してきた講師から、災害時・復興期の生活者の不安や地域課題等についてお話していただき、今後の日本の共生社会のあり様を考えていきます。

開催日時 令和4年3月15日(火) 10時～11時40分

講義形式 オンライン方式(なるべくオンラインでの参加をお願いいたします)

※会場参加の場合・・・としま区民センター 7階会議室

但し、感染状況等により、会場参加を取りやめる場合があります。

定員 オンライン…70名 会場参加…30名 (先着順)

講演内容 共生社会の視点から考える
「地震や豪雨災害などからみえた地域の課題」

講師 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
地球市民事業課 課長 市川 斉 氏

〔講師紹介〕

静岡県出身。1990年にシャンティ国際ボランティア会に入職。1995年1月に起きた阪神・淡路大震災において神戸事務所長。その後、国内外の緊急救援に関わり、2001年に9.11同時多発テロ後のアフガニスタンでの緊急救援事業に従事し、2003～05年アフガニスタン事務所長。事務局次長、常務理事、ミャンマー事務所長を経て、2021年11月より現職。

JPF(ジャパン・フラットフォーム)副代表、国際協力NGOセンター(JANIC)副理事長を歴任。

第16回ヘルシー・ソサイティ賞ボランティア部門(国際)受賞。著書は『ハジババと1000頭のロバ～震災・神戸からアフガニスタンへ～』(筒井書房)他。



申込み方法については、2ページをご覧ください

<問合せ先> 豊島区民社会福祉協議会 共生社会推進・事業開発課
03-3984-9375



講演会「地震や豪雨災害などからみえた地域の課題」 申込方法

下記いずれかの方法でお申込みください。

① Google form

↓二次元コードからお申込みできます。



ここを
スマホで読
みとってね

※パソコンから申込をする場合は本社協HPにある
Googleform のリンクからお申込みできます。

② FAX

- 氏名(ふりがな)
- 年齢
- 住所
- 連絡先(電話・FAX 番号)
- メールアドレス
- 参加形態
(オンラインまたは会場)

左記項目を記入の上
FAX をお送りください。

※手話通訳が必要な方はその旨ご記入ください。

FAX 番号 03-3981-2946

- オンラインは ZOOM で行います。ZOOM を利用できる端末からご入場ください。
- 申込受付された方に後日メールにて受付確認の返信をいたしますので、必ずメールアドレスの記入をお願いいたします。
- 申込は先着順で受け付けますので、定員を超えた場合はお断りをいたしますこと、ご承知おきください。
- コロナ感染拡大の状況により、急きょ講演会を延期・中断する場合があります。本社協 HP 等でも告知いたします。
- 申し込み等でわからないことがありましたら、お電話下さい。



◎申込締め切り日：3月8日(火)

※ただし、締め切り日以前に満員になる場合もあります。

「クラフトマスクで地域をつなぐプロジェクト」

クラフトマスクをお配りしました

2月4日～6日にかけてサンシャインシティで開催された「さんしゃいんの湯」で、皆さまからご提供いただいたクラフトマスクを配布させていただきました！

東京都と豊島区の浴場組合、バスクリン銭湯部の協力により、老若男女問わず多くの方が足湯を楽しむことのできるイベントです。まだまだ感染収束の見えない状況ですが、感染は避けつつ楽しみを見つけながら過ごしていけたらいいですね。



ボランティア募集！

活動までの流れ

施設・団体での活動の場合

- ①活動を希望する「連絡先（担当者）」へ直接連絡を入れる。
- ②質問事項等があれば事前に伝え、面接日等の確認をする。

個人の場合

- ①当センターで、職員から詳細説明を受ける。
- ②職員が顔合わせの日程調整を行う。
- ③職員同席のもと、募集者と直接会って、活動内容の確認や今後の予定等について話し合う。
- ④話し合いが終了したら、お互いの連絡先を交換して終了。（以降、連絡は直接行う）

＜施設・団体＞

こみっとプレイス

障がいを持った方の就労支援施設のこみっとプレイスです。そこに通ってくる利用者さんとお菓子作りをしています。一緒にお菓子を作りませんか？お菓子作りの好きな方を募集しています。

- ▼内容：障がいを持った方とお菓子作りをお願いしたいです。雑談・世間話 歓迎です。
- ▼日時：火曜日・水曜日（その他相談）
- ▼条件：障がい者の就労に理解があり、お菓子作りが出来る方
- ▼持ち物：エプロン・バンダナ
- ▼活動場所：こみっとプレイス（都電雑司ヶ谷駅）
- ▼対象：どなたでも（お菓子作りの利用者さんは女性ばかりです）
- ▼募集人数：2～3名程度
- ▼その他：お菓子・ランチなど作っています。割引価格で提供させていただきます。
- ▼問合せ先：こみっとプレイス 担当：河崎・斉藤
TEL 03-6903-1355 FAX 03-6903-1366
Eメール commit-place@roukyou.gr.jp
URL <https://commit-place.roukyou.gr.jp/>

SOMPO美術館

美術ボランティア「ガイドスタッフ」第14期メンバー募集。美術鑑賞を支援するため、来館者と美術館をつなぐ「かけ橋」として、美術鑑賞のガイド等にたずさわるボランティアを募集します。

- ▼内容：新宿区と連携してSOMPO美術館において開催される新宿区立の小学校4年生から中学1年生の「対話による美術鑑賞会」（主に月曜日）でのサポート。上記鑑賞会の準備として、小中学校へ訪問して行う図工・美術の時間を使っての「事前授業」でのサポート。上記鑑賞会に関連して一般向け「対話による鑑賞会」などの鑑賞ガイドおよび運営サポート。地域における鑑賞会や展覧会の案内 など
- ▼日時：活動は通年
- ▼条件：原則としてパソコンでのメール連絡が可能な方。研修会で利用するWEB会議システム（Zoomなど）を使ったミーティングに参加可能な方。原則、都合の良い日（主に月曜日など）の約半日、月2回参加できる方。※活動頻度は目安です。個人の都合に合わせてご参加いただけます。
- ▼活動場所：SOMPO美術館（新宿駅）、新宿区立小中学校
- ▼対象：美術鑑賞や美術鑑賞ガイドに関心があり、ボランティアの趣旨、および活動内容をご理解いただいたうえで、共に学び活動する意欲がある、満20歳以上（2022年4月時点）の方。
- ▼募集人数：10名程度
- ▼申込方法：応募用紙（HPよりダウンロード）に必要事項を記入の上、作文を添えて郵送にてご提出ください。
- ▼締切：3月18日（金）～4月1日（金）必着
- ▼その他：持ち物は不要。ボランティア保険は当館にて負担します。
- ▼問合せ先：SOMPO美術館 担当：吉井
TEL 03-3349-3081 FAX 03-3349-4555
Eメール YYoshi3@sompo-japan.co.jp
URL <https://www.sompo-museum.org/>



閲覧コーナーに新刊入荷しました

【認知症世界の歩き方】

ライツ社 著者：筧 裕介

【入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう】

アスク出版 著者：吉開 章

【障がい者だからって、稼ぎがないと思うなよ。ーソーシャルファームという希望】

新潮社 著者：姫路 まさのり

【精神科ナースになったわけ】

イースト・プレス 著者：水谷 緑

当センターの閲覧コーナー
でご覧いただけます。

クローズアップ リボン会員①



リボンサービスの利用会員 & 賛助会員であり協力会員の経験もある本田義雄さん（91歳）にリボンサービスの活動や元気の秘訣などを伺いました。

☆リボンサービスを利用しようと思ったきっかけを教えてください。

卒寿のころから目がかすむようになり、70年近く親しんできた新聞・雑誌が読めなくなり、時折、心が沈むことがありました。そんな時70代で協力会員として一回り年上の男性の外出行などの活動を通して勉強になったこと・ご家族の方にも喜ばれたことを思い出し、今度は自分がお世話になろうと思いました。

リボンサービスとは…家事援助を中心としたお手伝いを地域の皆さんの参加と協力によって行うボランティア活動（会員制・有償）で、会員の種類は「利用会員」・「協力会員」・「賛助会員」の3種類があります。



ご自宅で奥様と

☆元気の秘訣は何でしょうか？

20年来続けているラジオ体操と全昌院で行っていた日曜座禅が基本です。こまめに動くこと、そして年1回の健康診断です。



☆協力会員との活動についての感想は？

週1回、「日経新聞」と「文芸春秋」を読みに協力会員が来てくれますが、コロナ禍にあって週1回、我が家に新風が吹き込まれる感じです！

☆最後に、本田さんにとってボランティアとは何でしょうか？

京都のお寺で「一隅を照らすものは国の宝なり」という言葉に感銘を受け、退職後、今後も住み続ける豊島区の宝になろうと考えました。大切なことは、動くこと、人と交流すること、繋がり…かな。

座禅では呼吸法を体得、ラジオ体操は全て覚えており音楽がなくてもできるとのこと、継続の大切さを改めて教えていただきました。本田さん、とても貴重なお話、本当にありがとうございました！！

なお、今後、紙面に登場していただける会員の皆さまも募集中です。連絡先：03-3981-9250 担当 山本 

使用済み切手・書き損じハガキのご寄附ありがとうございました！！

<1月受付：12/26～1/25 受付分> 29件 4,664g ハガキ 12枚

井上ます子、坂本好子、佐々木東洋子、
巢鴨駅前郵便局、NPO法人東京腎臓病協議会、THE STAR社会保険労務士法人、
駒込地域文化創造館、区民ひろば高南第一、区役所(税務課、生活福祉課、子育て支援課、
国民健康保険課、障害福祉課、放課後対策課、道路整備課、豊島清掃事務所)
匿名9名

※敬称略・順不同

ポラセン閲覧コーナー
今月のイチオシ！！

「北国直伝！雪への備え方」

